

第 10 回メンタルヘルス講演会 in 朝倉のご案内

本年 3 月より、認知療法・認知行動療法が診療報酬で算定されるようになりました。診療報酬で算定されるということは、認知療法・認知行動療法がエビデンスをもつ治療であると認められているということです。この度、鳴門教育大学 学校教育研究科 井上和臣教授をお迎えしての講演会を開催いたします。

井上教授は、認知療法の実践、研究面でご高名だけでなく、学校精神保健領域における認知療法の適応を重要な研究課題として位置づけられています。相談活動に携わるものとして、様々な技法を身につけていくことは大変重要なことである一方、それらをマスターしていくには多大な時間やエネルギーも要します。

そこで今回は、本格的な認知療法をマスターすることが目的ではなく、認知療法の視点を日ごろの相談にとり入れること、また自分自身をふりかえりより生きやすくなればとの思いより企画いたしました。

病院関係者だけでなく、相談活動に携わっておられる教職員の皆様、地域住民の皆様、学生の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

高知大学保健管理センター所長 岩崎泰正

記

日時：2010 年 10 月 16 日(土) 13:30～15:30

場所：高知大学 朝倉キャンパス メディアの森 6 階 メディアホール

講師：井上 和臣教授（鳴門教育大学 学校教育研究科）

演題：「認知療法のエッセンスを相談活動に取り入れよう」

参加費：無料

主催；高知大学保健管理センター

後援；高知県教育委員会

高知県臨床心理士会

問い合わせ先； 088-844-8158（梅田） e-mail；hokekan@kochi-u.ac.jp

* 会場設定のため、参加ご希望の方は、10 月 14 日までに電話またはメールで人数をお知らせください。